

Lucie Rie:

— 東西をつなぐ優美のうつわ —

Elegant Vessels Fusing East and West

9.26^{SAT} 2026 ~ 12.13^{SUN}

ルーシー・リー展



《青釉鉢》1980年頃 井内コレクション（国立工芸館寄託）
撮影：品野皇

開館時間 | 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 | 毎週月曜日（ただし10月12日、11月23日は開館）、10月13日（火）、11月24日（火）

主催 | 三重県立美術館、中日新聞社 企画協力 | 国立工芸館 特別協力 | 井内コレクション、京都国立近代美術館

協賛 | DNP大日本印刷 助成 | 公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

20世紀を代表するイギリスの陶芸家ルーシー・リー(1902-1995)は、現在のオーストリアのウィーンに生まれました。ウィーン工芸美術学校で轆轤^{ろくろ}に出会い、魅了され、陶芸の道へと進みます。作家としての地位を確立しながらも、1938年に戦争で亡命を余儀なくされると、作陶の場をイギリスのロンドンへ移しました。ウィーン、ロンドン、それぞれの地で当時の美術のエッセンスを吸収したリーは、優美な形、象嵌^{そうがん}や掻き落とし技法による独創的な文様、そして釉薬^{たなず}による豊かな色彩など、独自の作風を築き上げました。彼女の作品がもつ研ぎ澄まされた造形美と凛とした佇まいは、今なお多くの人々を魅了し続けています。

国内では約10年ぶりの回顧展となる本展では、国立工芸館コレクション、井内コレクションを中心に、ルーシー・リーの制作初期から円熟期までの作品を紹介します。あわせて、リーがウィーンで教えを受けたヨーゼフ・ホフマンやロンドン時代に親交のあったバーナード・リーチ、ハンス・コパーなど、関連作家たちの作品とともに、東洋のやきものとの関わりを紐解きながら、その造形の魅力に迫ります。

Lucie Rie: Elegant Vessels Fusing East and West

ルーシー・リー展
—東西をつなぐ優美のうつわ—



1



2



3



4



5

関連イベント ※手話通訳、要約筆記、その他支援が必要な方は2週間前までにご相談ください。

記念講演会「ルーシー・リー作品の源泉と作風の変遷」

講師 | 金子賢治 (茨城県陶芸美術館館長)

日時 | 9月27日(日) 午後2時— (90分程度/午後1時30分開場)

場所 | 三重県立美術館 講堂 *会場に直接お越しください

定員 | 140名 当日先着順/参加無料

担当学芸員によるスライド・トーク

日時 | 10月25日(日)、11月28日(土)

各日午後2時— (30分程度/午後1時30分開場)

場所 | 三重県立美術館 講堂 *会場に直接お越しください

定員 | 140名 当日先着順/参加無料

ワークショップ「ひっかく線で模様をつくらう！」

色付けした素焼きのお皿を引っかけて、
掻き落としの技法を体験します。

講師 | 樋口萌 (陶芸家)

日時 | 11月8日(日) ①午前の部 10時30分—

②午後の部 2時— *各回90分程度

場所 | 三重県立美術館 美術体験室 対象 | 小学5年生以上

定員 | 各回10名程度 (応募者多数の場合、抽選)/参加無料

*参加には事前申込みが必要です。

ウェブ申込みフォームよりお申込みください。

10月25日 17時締切

1. 《鉢》1926年頃 個人蔵 撮影:野村知也
2. 《白釉ピンク線文鉢》1984年頃
井内コレクション(国立工芸館寄託) 撮影:野村知也
3. 《ブロンズ釉花器》1980年頃
井内コレクション(国立工芸館寄託) 撮影:品野壺
4. 《コーヒー・セット》1960年頃
国立工芸館蔵 撮影:エス・アンド・ティ・フォト
5. 《ボタン》(一部) 1940-50年代
公益財団法人岡田文化財団バロミタミュージアム蔵

観覧料 | 一般 1,200 (1,000) 円

学生 1,000 (800) 円

高校生以下無料

()内は前売および20名以上の団体割引料金 ●この料金で、美術館のコレクション、柳原義達記念館もご覧いただけます。 ●生徒・学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。 ●障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。 ●教育活動の一環として県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。 ●毎月第3日曜日の「家庭の日」(10月18日、11月15日)は団体割引料金でご覧いただけます。 ●主な前売券販売所:チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

同時開催 | 「Y² project 水野勝規 刻まれるとき、揺らぐかたち」 2026年9月1日(火) - 12月27日(日) 柳原義達記念館

※2026年12月28日(月)から2027年3月1日(月)まで、施設改修工事のため休館します。2027年3月2日(火)より再開館予定です。

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

〒514-0007 三重県津市大谷町11 TEL:059-227-2100 FAX:059-223-0570

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/> Follow us on X @mie_kenbi



◎交通案内

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」・「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」・「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」・「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分・「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場もご用意していますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。

